

## 計画学科

- ・ 図解をするということは、ある事柄の意味を理解することであり、それはすべての事柄に通じるものである。だから図解に不可能はないと思う。
- ・ 図解表現はこれから政治、教育、医療などあらゆる分野で活かされていくと思う。特に自分の発言を図解して配る政治家を見てみたい。
- ・ 論文を図解で作成するのはどうだろうか。論理だったものであるなので、略図として活用する価値はあると思う。図をかくようになって、うまくはかけないが、もっと文章に関わろうとかちゃんと理解しようという気は起きるようになった。
- ・ 図解表現は無限な感じがする。何にしてもわからないことは図解してみると良いと思う。だが、わからないことはすべて図解なのではなく、図解してみて改めて知ったことやより知識が深まったりしたなら、それを自分の中で統合してより効果的な発信方法を考えることが大事なのだと私は思う。
- ・ 図解表現とは「『図』をつかって相手と自分が理『解』する『表現』技術」だと実感した。図解表現には、相手、第三者、「自分」をも飛躍させる可能性を秘めていると思う。
- ・ 図解表現の可能性は無限であると信じている。図解表現できないものは一定のものしかなく、これは無限大の可能性を秘めている。
- ・ 図解で表現しようと試みることによって、今まで不可能だったものが端的でわかりやすいものへと表現可能になるのではないかと感じた。社会で起こっている様々な出来事に対して図解で表すことは、もう不思議なことではなくなってくるような気がしてきた。
- ・ 「図解」できる力は、将来自分がプレゼンテーションを行うときに役立つだろう。また、何かを学び理解したいとき、理解できているか確認したいときにも図解は役に立つと思う。小中高の授業でも図解が用いられることを期待する。
- ・ 教育の現場に図解を取り込むことは理解深めるいい機会になると思う。しかし一歩間違えると間違った理解をされることも忘れてはいけないことである。
- ・ 図解の効果として、文章に対する興味を起こさせるということ、図解する対象についての真の理解が深まるということが挙げられる。
- ・ 図解は文章に較べるとはるかにわかりやすい。良い図は文章に起こしやすい。これからの文章は一度図解してから文章を書くようにすれば悪い文章はなくなると思う。しかし、小説の分野には進出しない方がいいと思う。
- ・ 今の時代は情報を表現するものとして「文章」が主流になっている。しかしわかりやすい文章が少ない。そこに1つわかりやすい文章があればいいのになと思う。しかし図解は文章の付随品であるべきであると思う。日本語表現の美しさを損なわない範囲での図解の利用を考えていくべきである。
- ・ 広告に図解だといいたいと思う。図解は、人に説明したりポイントをわかりやすく示すときに役立ち、これからの時代に浸透していくべきものだと思う。
- ・ 図解はすべての難問や文章を易しく理解・分析できることに役に立っている。すべての

本もそのように図解を用いたら、読者らはその本の内容をもっと楽しめるのではないかと  
思っている。

- ・ 自らの考えていることを人へ伝えるのに図解は最適で、人と人とのコミュニケーションの可能性を大きく広げるものだと思う。
- ・ この授業で実践力が付いたと思う。これこそ宮城大学の特徴だと思う。
- ・ 図解はまず教育で実力を発揮するであろうと思う。図が書いてあればぱっとみて理解できてしまうので、やる気が出るし理解も早くなる。そして「図解」という概念が当然のものとなり、むしろ文章は副次的なものとなるかもしれない。
- ・ 図によって言葉では言い表せないことも示すこともできるだろうと思う。
- ・ 先生の授業を受けて、図解を意識するようになり、日常生活においても図の重要性を実感するようになった。他の人たちも「図解表現」というものに出会う機会さえあれば広まっていくのだと思う。歴史などの教科書を図にすれば生徒たちがみてわかりやすいし、考える良い機会になると思う。授業にただ参加し、文章を聞き流しているより図を見て考えた方が学力低下を防ぐことができるのではないだろうか。
- ・ ものの認識の仕方がコンパクトに、さらにいろいろな事柄にリンクしやすくなると思う。また、図解ほどパソコンを利用できるものもなく、プレゼンの時最も活用できるのではないのではないだろうか。特に言葉が通じにくい場合（外国語など）簡潔に無駄なく、伝えることのできる図解は使えると思う。
- ・ 図解表現の技術を多くの人が身につけ、世界に広まったとしたら、より多くの人が今世界中で解決しなければならない多くの問題に気づくと思う。この図解によって世界が救われるかもしれない。久恒先生、これからも図解の技術を世界に広め、がんばってください。
- ・ いきなりワールドワイドな話題は無理にしても、ちょっとずつ広げてみんなが共有できる話題へと変えていくのが図解表現の有効活用の最たる例だと思う。
- ・ 図解はものや人の関係を簡潔に表すことができる。それぞれの関係や、その間のコミュニケーションを誰でも簡単に理解することができる。だから私は図解表現がメジャーになればもっと多くの関係がスムーズに行くようになると思う。
- ・ 図解表現をうまくできればありとあらゆる場面で使えると思う。これからは多くの人が図解を使えるようになってほしい。そうすれば日本も様々な面で変わってくると思う。
- ・ 図解というのは、簡単なことをより簡単に、難しいことも簡単にできる手段だと思う。図解の力を磨いて様々な分野に応用できれば、社会的・人間的にいろいろ役立つと思われる。
- ・ 図解には多くの使い道があることをこの講義を受けて感じたが、その中でも特に図解文章法が自分に役に立つと感じた。これからはレポートなどの時、この授業でつけた図解力を文章の構成力につなげ、いい文章を書けるようにしていきたい。
- ・ 図解表現には非常に多くの可能性があり、一つは図解のそもそもの目的だが、「情報を

よりわかりやすくできる」ということだ。他人と相互に意見を図解することで、知識や理解を深めることができる。また、図解は記号であり絵であるため、人を引きつける力があると思う。

- ・ 図解を描くことによって、個人・企業・政府は合理的な考えを持つようになると思う。その可能性の中で一番大切なのは、ビジョンをもってそれに従って計画を立てることである。
- ・ 図解の良いところは理解がしやすいことである。今後図解表現は、誰にでも理解ができる伝達的手段として、世の中に浸透していくべきだ。きっとわからなかったものが見えてくるだろう。
- ・ 図解することによってあいまいで忘れやすいものや、受け皆姿勢な情報収集、不明瞭な説明なものが、積極的な情報収集になり、理解しやすく筋な通った理論となり、十分な信頼や安心につながっていくのだと思う。
- ・ 私は図解を政治に活用していけばいいと思う。国会中継などの内容をわかりやすい図にして公表してくれるとより多くの国民が政治に関わっていくのではと思う。また、図は世界共通だと思うので、国際的コミュニケーションにも大いに役立つだろう。
- ・ 教科書をはじめ、様々な文章を図解することで一層理解が深まることと思う。
- ・ 私は「図解新聞」があったらいいなあということである。従来の新聞とは内容が一緒に異なるのは図解といくらかの文章で構成されることである。週に1回でもそんな新聞があったらいいと思う。
- ・ 今はまだ広く知られていないかもしれないが、近い将来、図解表現法はとても重要視される技術になるのではないかと思う。目が不自由な人々のための図解表現はできないだろうか考えたのだが、先生はどうお考えになるでしょうか。
- ・ 小中学校で勉強に対する基本的な姿勢を身につけるので、これからの教科書にはぜひ図解を取り入れてほしいと思っている。
- ・ 図解は描いて相手に端的にわかりやすく伝わることに意味があるのだと思いました。中高生の授業等で、文章だけをだらだらと並べて教えるのではなく、図解をしてわかりやすく授業をしたり、海外に行って日本を紹介するときに図解をしたり、ニュース番組でも原稿を読むだけではなく図解したものと一緒に説明したりすれば、様々な場面で活用できるのではないかと思う。
- ・ 文章よりは相当省けるけれど、それゆえに相当きちんと描かなければうまく伝わらないのが図解だと思う。
- ・ テレビのニュース、会議などのプレゼンの場、レポート作成時、ホームページ、新聞雑誌などで図解表現が活用できると思う。小中学校のころから図解や図解文章法が学べる環境に今後なっていけないだろうか。久恒教授が先頭となって、図解の便利さをもっと世の中に伝えていくのを期待している。
- ・ 図解は物事を説明する上で効果的な表現方法だと思う。また、相手に伝えるための技術

だけではなく、文章を理解する上でも役に立つ技術であり、図解法を身につけることは自分を高めることになったと思う。

- ・ 図解の重要さが痛いほどわかった。図解することによって、記事に対する理解が深まっていくことや、図解ができずにもたついているときは、目で見て理解したつもりの記事がほとんど理解できていないことなど、様々なことが見えてきた。
- ・ 歴史の教科書に図解を用いるのは、できれば素晴らしいと思う。歴史というものは因果関係がはっきりしているので図解にしたらわかりやすいと思うからである。
- ・ 図解表現は、世界でどこへ行っても通用する技術だ。このことに僕は大学に入ってから気づいたのが非常に残念である。文章は図解よりも表現は豊かだが、ビジネスにおいて文章のその長所は必要なのだろうか。人を一瞬で理解させる図解の方がいいのではないだろうか。
- ・ 私はこれから図解はあらゆる方向に普及していくのではないかと思う。特にこれまで国民全体として興味を示さなかった分野、難しい文章で書かれて理解しにくい分野（たとえば政治や医学）に普及していけば、日本の未来と図解の未来は明るいのではないだろうか。
- ・ 図解でもっとも大切なことは「情報を整理すること」だと思った。図解は文章より人に訴えかける力を持っているだろう。図解とは、人の生き方に花を添えることのできる可能性を持っている。
- ・ 図解は未知の世界だが、この先どんどん広がっていくと思う。私は図解がすごくわかりやすいとはあまり思わなかった。言葉数が少なすぎて、頭の悪い私は混乱した。しかし位置関係を把握する上では大変有効だった。
- ・ 図解することによりそれぞれの因果関係など見えなかった部分が見えてくる。
- ・ 図解はある事柄について自分の中で深く理解することができ、また新しい発見をすることもできる。図解ができるということは自分がそのことを理解できたということである。
- ・ 図解を勉強して一番身に付いたことは、文章のポイントを頭の中で組み立てられるようになったことである。この講義だけで図解を終わらせるのではなく、常に、日々物事を頭の中で図解し、表現できるよう努力していきたい。
- ・ 図解表現には自分の意見の要点をつかみ、整理しやすくなるという効果がある。この効果を利用すれば、プレゼンテーションや文章の骨組み作りが簡単に行うことができる。長い文章と違い、一目で読者の心をひきつけることのできる図解は、読み手の確立していない場面でも実力を発揮できる。情報過多な世の中でこのようなパワーのある図解は大変有効だと言える。
- ・ この世の中に存在するもの、人間や日々の出来事など、そのすべてのものに「理由」がある限り、図解によってそれらを表現・分析することは可能である。今、教育のあり方について考え直されているが、そのようなときこそ、図解のような自分の頭で考え、理解した上でそれを形にする、という表現力が必要なのではないだろうか。そのために

小学生くらいの幼い頃から図解法を学ばせるなど早いうちに行動に移すことが大切であると思う。

- ・ 図はキーワードのみが記されているし、流れも「理解」できれば、必要な情報のポイントを発見しやすくなる。文章を図解で表現することは情報処理を容易にしてくれると考える。
- ・ この先、図解が広まればみんなが図解を作るようになり、学校教育にも取り上げられ、今までは文章でしか書かれていなかった歴史、小説、論文などもすべて図解で書けるようになるのではないだろうか。
- ・ 図解は全員の情報共有にとっても役に立つのであらゆる場面で使えると思う。老人が文章から図解をして楽しんだらボケなんかとは無縁になるだろうし、教育の場でももっと図解を使ってほしい。図解教科書があっがいい。図を書くことは世の中と結びつく手っ取り早い手段だと思う。世の中と結びつきを求めるなら、本やテレビを見るのではなく図を書くことだ。
- ・ 図解は非常に内容がわかりやすく、事物などの相互関係がイメージとしては頭に入りやすい。しかしすべて図解するのではなく文章があってそこにプラスとして理解しやすくするように、図を少し挿入していくくらいがちょうどいい。図解表現の可能性は果てしなく果てしなく広がっていくと思う。
- ・ 図解表現には可能性もあるが限界も感じるので、文章とうまく織り交せて、プレゼンテーションできるようにしたい。
- ・ 図解は一見とても簡単そうに思われるが、実はとても奥が深く、それ故難しい。しかし、頭の中で情報を構成していく力が付くし、何よりわかりやすい表現が可能だ。シンプルにまとまっていて力強い、最高の表現方法だと思う。
- ・ 図解は確かにすばらしいが、なんでも図解にすれば良いというわけではないと思う。一番良い図解の使い方は文章と一緒に使うことだと思う。
- ・ 図解の利点は、流れがわかりやすい、理解しやすい、頭に入りやすいことだと思う。この利点を最大限に活かすために、ぜひ社会の教科書や暗記集が出てほしいと思った。
- ・ 図解表現はたくさんの場合に使えると思う。今年、レポートを書くときにもう自然に図解の技術を使いました。それなりの効果が出て、高い評価を下しました。
- ・ 図解表現は応用が利きやすく、様々なジャンルに適用できる。また、図解というのは、教育の場にも応用できそう。子供の頃からこうした技術やものの考え方を身につけるのは大変好ましいことだろう。現在自己表現できない子供が多い。図解による教育がそうした子供たちを変えてくれるかもしれない。
- ・ 人間は視覚による情報の認識・理解が大多数を占めるため、図があった方が感覚的にも理解しやすいと思う。さらに図を正確にはっきりさせるためには、文章・言葉ももちろん書かすことができないと思う。
- ・ 図解はシンプルだからごまかしが利かない。識字率の低い国でも真実を共有できる。世

界には全体で取り組むべき問題が多くあるが、その問題を共有するために図解を大きな役割を果たせないだろうか。

- ・ これからの時代、必要不可欠な技術だと思っている。難しいコンピュータの本、政治に関してなど図解を取り入れてほしい。図解+文章というのが21世紀最高の情報表現法だと思う。
- ・ 図解表現することによって、その文章に対する自分の理解度がよくわかるし、また図を見て図が表していることをよりわかるようになる。
- ・ 小中高生の数学を、図を使って教える（妹に図で説明したら好評で、わからないところは聞いてくるようになった）。
- ・ 私は図解を使っていろいろなことを表現していくのと同時に、文章を読み込むということも強化していくことで、本当の知識人になれるような気がしています。
- ・ 図解で成果が上がると思うこと。 児童の医療、 教育：小学校の「生活科」、中高生の「総合演習」で活用。 新聞：図解を交えれば小学生にも読める新聞に。 入試：小論文ではなく図解にしたら、もっと個性が見えてくる。 入社試験：会社のイメージと合う社員を迎えることができる。 社会に：国会では図解で政府指針を説明し中継すれば国民はわかりやすい。
- ・ 図解表現を選挙など政治の場で用いれば焦点がわかりやすくなるのではないだろうか。また内閣の方針や野党の主張などにも図解を用いれば良いと思う。またここで述べた以上に図解はまだまだ可能性があるすばらしいものだと思う。
- ・ 「ちゃんと図解できる人」があらゆるメディアを利用し図解を使っていけば、国民的に普及するチャンスもあるかもしれない。
- ・ 図解の可能性は自をたくさん読むのが苦手な人を助け、そういう人を政治経済などの情報を遅れることなく頭にたたき込める。
- ・ 図解は確かにわかりやすいが、逆にわかりにくくなっている部分も少なくないように感じた。
- ・ 図解のすばらしさは物事がわかりやすくなり、その物同士のつながりが目で感じられることだと思う。また、全体像が捉えられることもできるでしょう。自分の意図する事柄をいかに相手にうまく伝えられるかが大事であり、その際、文章よりは図解の方が取り組みやすいと思うので、たくさんの方が図解表現を学ぶことで、曖昧な文章が減っていくのではないかと思った。
- ・ 図解表現の可能性は未知数であると考え。図解で表現すればますますわかりやすくなるものは世の中にたくさんある。とりあえずはじめに、自分の図解に対する技量が上がることと、図解された歴史書が出版されることを期待している。
- ・ 図を使えば、難しいことでも誰もが理解できるというところにポイントがあると思う。このことにより子供やお年寄りなどの層へ理解を促すことが可能になると感じた。今よりさらに図解表現が社会に広まり、使われるようになれば、大勢の人が簡単に情報を得

られるようになると思う。

- 文章を読めば少しではあるが、図解が自然と頭の中に浮かぶようになってきた。図解は、最初から読み込んでいなくても、自分の興味のあるところから見ていけるといいうところも魅力である。
- 図解表現は大量の情報をコンパクトにわかりやすくまとめることができ、便利であるが、まだメジャーではないと思う。こんご様々な分野に使うことができそうなので、展開に期待したい。図解表現を取り入れてほしいと思う物は教科書である。
- 図解表現は、現在あまり世の中に浸透していないが、浸透するに伴い、様々な読み物に使われていくのではないかと思う。
- これからの時代は、やはり図解はすごい武器になると思われる。この技術を身につけたら、もし困ったことがあったときでも、何らかの力となることだろう。
- わかりにくい文章を図解することによって、自分でも理解することができるようになるし、理解できる人の層は増えることだろう。
- 図解表現とは一種のアートであり、書き手の個性が顕著に見られるものだと思う。現代のハードを上手に利用すれば、3D、動画、ホログラムなどが使われた高度な図解も可能になってくる。
- 人は言葉を使って意思伝達をすることが特徴であるが、図解とはそれを超えた伝達方法であると思う。図解の技術を身につけることによって、前より相手に自分の考えを理解してもらえることに喜びを感じ、また相手の自分とは異なる主張に何度も考えさせられた。
- 図解は使えば使うほど、様々な場面で活躍できるということだ。
- 図解はキーワードがありすぎると書きにくく、逆に少なすぎても書きにくいので、ある限度が存在しているのではないか。
- 図解は教育の場に大いに有効な技術だと思う。またメディアでも図解がメインとして使われるべきだと思う。図解表現はすべての人に即効性のある薬のような物だと思う。
- 文字だけで書き表されているよりも、図が使われている方が遙かにわかりやすい。多くの人が普通に図解表現をするようになると、世の中が違って見えそうだ。
- 図解することにより、自分の頭で考えるようになり、理解力も増し論理的に考えることができるようになりました。図解の可能性は幅広い分野に及ぶと思う。図解は今後幅広い分野、年齢層に普及していくと思う。
- 図解は物事の本質に近づくための最も有効な手段の一つであると思う。
- 政治家のことを図解にして国民に発表する。政策などが正しい図になっていれば、段階毎に理論的に組み立てられているはずで、その政策について国民が知ることができる。
- 図解はまとまっていてわかりやすい。第一に活用してもらいたいのは、歴史の教科書である。図解は読者に理解の幅を広げる可能性を持っている。

- ・ インターネットの時代に図解は不可欠だと思う。物事を視覚的に伝えることが必要とされるからである。
- ・ 図解表現は短い時間でわかりやすく説明できて、聞き手は全体の流れやつながりを把握できるのでとても便利だ。
- ・ 事業計画学科にとって図解は必要不可欠だと思う。事業を展開するに当たり、図解表現することで様々な可能性が広がると思う。
- ・ 図解表現で表現できないことはない、といいきれぬ。文章よりも相手にものを伝える力は勝っている。
- ・ 情報の中で何が自分に大事なことであるかを理解するために図解表現は大きく役立つと思う。
- ・ 自分が今、何をしたらいいのか、自分の価値はどれほどなのかがわからなくなったときこそ、この「図解表現」が必要なのだと思った。図解にはごまかしがきかないので、ありのままの自分が見えてくるのだと思う。
- ・ ほとんどのことにおいて、有用性はあると思う。文章を味わうこと以外が目的ならば、図の方がわかりやすいから。
- ・ 図解はわかりやすくポイントをまとめているので、足りない部分が出てくるが、それを補充するのをプレゼンテーションにしたら、会議などでの自分の力を上げることができると思う。
- ・ 図解表現は、要点をわかりやすく伝えることができるので情報のスピード化が進んで来であろうこれからの社会では、ますます必要になっていくと思う。文章とセットにしてお互いを補完していけばよりわかりやすくなると思う。
- ・ IT 関係や経済誌などは写真や文章だけでも難しい。そういうときに活躍するのが図解だと思う。
- ・ 図解表現法はすばらしい技術だと思う。父は保険の販売をしており、毎日複雑な書類を客に見せて説明しなければならぬが、図にすれば説明しやすく、理解しやすくなるはずである。ぜひ父の仕事に活かしたい。
- ・ 図解のメリットは答えがはっきりしているところである。ここは何が何でも理解してほしい、と思う部分を図解しコミュニケーションができれば最高だと思う。
- ・ 図解表現には多くの可能性があると思う。図解は「複雑な物を簡潔に、かつおもしろく、かつ深く」を意識して表現すればいいものができると思う。
- ・ 図解の方が文章よりわかりやすいのは認めざるを得ないが、うまい図解でない限り、情報が抜け落ちてしまうことが多い気がする。コンセプトや流れを追って説明するような場合にはまさにきれいに理解できると思った。

#### 看護学部

- ・ 図解はどの分野においても活用できると思う。患者の病気を本人や家族に伝えるときも、

図で医師がわかりやすく説明すれば患者は自分の状態について十分理解した上で治療に臨める。

- ・ 私たちが医療の現場にたったとき、病気の進行状況やそれごとの対策、薬の作用などを図に表して説明すれば、インフォームドコンセントなどもっと活発に行うことが可能になるだろう。図解には無限の可能性のあることをこの講義で知った。
- ・ 現代では頻繁に図解は用いられていないが、いかに人にわかりやすく説明するかという点において、文章を図解にしてみるという方法があることに気づいた。どんな文章だって図解にして表すことは可能だと思う。
- ・ 看護婦が患者に病気のことやその経過、治すためにどのようにすればいいかなどを教えるのに用いる。
- ・ 図解は文章の羅列とは違って、印象に残りやすいし、重要なところがわかりやすいのでポイントをつかむのが容易になると思う。
- ・ 自分が関わって行くであろう医療の場で、子供に図で説明してあげたら難しいことでも理解してくれるのではないかと思った。
- ・ 図解表現は世界史の教科書にぴったりだと思う。またパソコンを買う際にすべての機種をみなければならないので、すべてを図解してほしい。料理のレシピなどにも応用できたらいいと思う。医療の場でも図解で表現できたら、お年寄りや子供などの幅広い年齢の人が理解できると思う。
- ・ うまく体系化されていないだけで、多くの人を使う手法であると思う。図を作ったり見ただけで理解できると安易に思いこむのは危険だと思う。
- ・ たとえば保健婦として働くにあたって、患者の情報において図解表現が効果を発揮するのだと思う。図解の効力の中で一番大きいのは見やすさだと思う。
- ・ 新聞や雑誌のコラムなどを読んで頭の中で図に表せるようになったらすごくためになると思う。
- ・ 図解はいろいろな場面で使えるという意味で、その可能性は無限大に広がるはずである。
- ・ ぱっと見てわかる図解表現はいろいろな人の視野を広げると思う。
- ・ 図解は物事の要点を一目で理解でき、大人も子供も同じように見られるので、多くの人に見てほしい事柄、知ってほしい事柄を表すのにとっても良いと思う。しかし、図解がよいといっても文章のように細かいところまで表現できないし、文章には文章の趣があるので、もっと図が体系化されなければ公の場で図が用いられる機会は少なくなると思う。
- ・ 複雑な内容だけれども、理解しなければならない事柄に関して需要が高まると思う。小学校のうちからこのような授業があれば、情報をまとめる力がつき、さらに集中力も付くだろう。
- ・ 現在参議院選挙に向けて各政党の政策がクローズアップされているが、それを図解表現し、それぞれの方針を明確にして理解してもらえるようになる。
- ・ 医療の場：経緯が明確になり、医療ミスも減らせるのではないか。裁判、政治方針にも

図解は使えると思う。

- ・ 図解はどんどん広がっていくのは確実だと思う。特にぜひ広がってほしいのは教育現場である。
- ・ 新聞に載っている事件なども図解にした方がわかりやすいと思う。
- ・ 図解はいろんなところで使えると思う。病院ではカルテを書くときに絶対に使えると思う。
- ・ 図解表現はどの場面で活用される、とかいうことではなく、どんな場面でも活用できると思う。国際交流の場でも使えると思う。
- ・ 新聞に図が載るとすっきりするし小学生でも読む気がすると思う。
- ・ 医療の場でも使えるのではないかとずっと思っていた。難しい病気について患者さんに説明したり、病院全体の流れなどを図解にしたらとてもわかりやすいのではないかと思う。
- ・ 図解には未知の可能性があると思う。臨床の場でも図解は使えると思う。
- ・ 「ゆとり教育」に代わって「図解表現教育」を推進すればよいと思った。また、定年退職したばかりの人たちも、自分のこれからに向けて図解表現を試してみたら良いと思う。
- ・ 医療で、患者に現在の病気の症状を説明したりするときに図解が必要になってくる。また、学会などの時にも相手にわかりやすい説明ができる。わかりやすい説明をするには図解が必要となってくるだろう。
- ・ 図解にはわかりにくいものをわかりやすくする力があると思う。
- ・ 人の興味・関心が薄いということは、内容が理解できていないからだと思う。そんなときにこそ「図解」を使って説明すると、納得しそこから興味がわいてくる。
- ・ 図解はどんな事柄にでも対応できるし、また図解の方が分かりやすいものも多いんだと感じた。私自身の図解表現の可能性はあまり見えてこないが、図には誰が見てもわかりやすいという最大の利点があるので、今後どんな社会環境にも対応していけるのではないか。
- ・ 図解表現は様々な場面で使えると思う。1番はやはり「他人に何かを伝えたいとき」に図を見せながら切魅するととても分かりやすい。「自分の頭の中を整理したいとき」にも役に立つ。数学も問題がわからないときも、整理して図を書いてみるとひらめいたりしたものである。
- ・ 図解表現はすべても分野に応用できるものだと思う。この講義を小中学校の住牛鬼も取り入れていけば、将来職業に就いたときに役立つし、他の教科の理解も高まるのではないか。
- ・ 企業だけでなく、医療や学校でも使える場面があるのではないか。(算数の足し算や国語の物語を図にする。高校の歴史を図にして説明すると理解が深まる。生徒らに図にするようにし向けるのもおもしろい)ジュニアリーダーというボランティアをしているが、そこで子供会でのゲームの説明にも使えると思うし、「子供の接し方」「大人との接し方」

を話し合う場面でも図で説明できるかもしれないと思った。

- ・ 図解することで今まで表面上の理解だったものが、納得のいく理解ができるようになった。医療の場で患者に説明するのに役立つと思う。要点をわかりやすく相手に伝えることができると共に自分も「なぜその行為を行うのか」を明確にできると思う。
- ・ この講義を受けてきて、「図解を看護にどう活かせるか」ということを考えてきた。答えははっきりとは分からないが、図解することで人に説明する力とか、頭の中で物事を考えて組み立てていく力は付いたと思う。図解の良い点は人とコミュニケーションができることだと私は思う。
- ・ 1番図解を使ってもらいたいと考える場面は学校の先生の板書である。特に歴史や国語。
- ・ どんなに長い文章でもすっきりと図にまとめることができる。図解表現にはまだまだ計り知れない可能性があると思う。
- ・ 公の文章以外ならなんでも図解できるのではないだろうか。どんなに難しく書いた文章を読むより、図解した文章を聞く方が遙かに理解しやすいと思えるからである。
- ・ 図解表現はさまざまなことに応用できると思う。テスト勉強の時なども、菌の名前などを図にして憶えていけば少しは楽になるかなと思う。
- ・ 図解をすることで自分の理解度を知ることができることや、文章よりも重要な用語との関係を理解しやすいところが、図解のすばらしい利点であると思う。図解表現法はまだ始まったばかりの分野なのでよく分からないが、現時点での可能性は無限ではないだろうか。そのうち、図解することがいろいろな人に浸透すれば、大きな問題にも目を向ける人がたくさん出てくると思った。
- ・ 自分の考えをじっくり整理したいときやごちゃごちゃした文章を一目で分かってもらうときに図解を利用すると良いと思う。
- ・ インフォームドコンセントで図解を使えば、患者も理解し、自分の考えで治療法を選べるかもしれない。図解は患者の味方である。この先、図解の良さがいろんな人に理解される時代が来たら、新聞は図解になるのではと思うのだがどうだろう。
- ・ 図解はどの分野においても使えると思う。
- ・ 小中高の教科書にもっと図が載っていれば楽しく分かりやすく勉強ができたと思う。医療の現場でも図は使えると思う。インフォームドコンセントにおいて図を使って説明すれば、医学の知識が全くない人にも、わかりやすく説明できるのではないかなと思う。
- ・ 図解表現は人が生活する上ですべての場面で活用できると思う。医療の現場でもどんどん使っていくべきだと思った。患者さんへの病状の説明や、治療・手術の方針についてなど専門用語で説明されては分からないことに使っていくことができると思う。
- ・ わかりにくい政治など図解に表現すると、国民が理解しやすくなり、政治的関心が高まる。また医療現場でも図解表現が増えると思う。図解は説明するとき、原因、その後の可能性、予防法、対策などが分かりやすいと思う。
- ・ 考えをまとめる力、それを表現したりくみ取ったりするには図解したらいいと思う。「豊

かな人生は図解から」をキャッチコピーに社会参加する人が増えることを期待し web ページの拡散に寄与したいと考えている。

- ・ 人にプレゼンするという意味で図解は役に立つと思う。人に感動を伝えると行ったものではないと思うが、多くの情報を一度に提供できる。ものともものつながりがよく見える。この特徴は大勢の人に対して知らせる場合に役立つだろう。
- ・ 新聞紙上で活字だけではなく図解を交えて説明される日が近いのではなかろうか。図解で自分の可能性が広がると思う。
- ・ 大切で重要なものほど図解を通してわかりやすい解説が必要だと思う。これから図解表現を使うことが重要になってくると思う。そのためにその図を正しく判断・利用するため、図解表現能力を学んでいかなければならないと思う。
- ・ 図解表現は活用する場所・人を選ばないと思った。英語が公用語である以上に、図解表現の方が「公用術」といっても過言ではないくらいだ。
- ・ 図解表現は多くの場で活用できると思う。特に活用の場としては「教育の場」や「仕事の場」で利用すると効果的ではないかと思う。
- ・ 患者に分かりやすく病気について教えるには図解が必要だと思った。
- ・ 頭の中でばかり考えて、訳が分からなくなってしまう人が増えているが、そのときに自分や周りを図解してみて原因を突き止めて、自分自身を見つめ直すのに使えるのではないかと思う。
- ・ まず図解をすることで見る立場はわかりやすく記憶に残りやすい。だからこれからはもっと社会や経済で図解が取り入れられると考えられる。
- ・ 文章よりも筋道が分かっていないと書けないので考える力も付くと思う。
- ・ 講義を受けて図解がうまくなったと思う。これぞ図解、と自分なりに納得するようになった。
- ・ 今までいろいろなものを図解してきたが、図解できないものはないんじゃないかと思う。図解表現の可能性はすごく大きいと思う。
- ・ 分を読むことも大事だが、一番のいい効果は学校の授業だと思う。文を読んでも分からないことを図に表し、先生が教えれば理解はかなり深まると思う。また図解には国境がないように思うので、外国人にも重宝すると思う。
- ・ いろいろ病気になる課程や予防法などを図解し、病院内や地域の保健施設などに貼る。歴史の教科書の図解化。病院の勤務マニュアルの図解化。このように活用できる場所を考えてみてもきりが無い。
- ・ 図解表現の一番の魅力は分かりやすいということであり、誰が見てもすぐに理解できるという力を持っている。
- ・ 図解はなかなか理解しづらいことでもすぐに理解できる。
- ・ 図解表現はわかりやすく、見やすく、何より理解することに飽きないと思う。私は絵を描くことが苦手なので、私に向かない講義だと思っていたが、毎回満足度が上がって

いてはまってしまった。

- ・ 歴史の教科書、電化製品の使用説明書などを図解表現にしたらわかりやすいと思う。
- ・ 図解表現はどんなに難しい内容の文章も興味もてるようになる可能性がある。つまり自分の興味の幅を広げてくれる可能性があるのではないだろうか。
- ・ 図解は万国共通であると思う。図解に文法はなく、キーワードのみによって自分の意図を伝えることができるからである。
- ・ 文章が存在するところすべてに使える。

## デザイン情報学科

- ・ 図解は一瞬で多くの情報を伝達できるというメリットを持つ。これは web 上で使われる画像ファイルと似ていると思う。むやみやたらに使うと、意味が分からなくなり誤解を招くのではないか。独りよがりにならずに、わかりやすい図解を目指せば、ネットのように広く普及するであろう。
- ・ これからの社会において、図解はありとあらゆる場面で必要になると思う。文章を図解できるということは、読解できていることに結びつく点でも、その必要性は教育面にも広まって行くとも思う。そういう意味で、社会のあらゆる面で図解表現の可能性は考えられる。
- ・ 図解は人間が記録する手段として始めて使ったものだと思う。エジプトの壁画や中国の象形文字はある意味図解だと思うからである。しかしこれまでの図解はあくまでも文章の補足的な役割を持っていたが、インターネットやパソコンが普及した現在、図解の世界は大きくなったと思います。最近のパソコン教材は動画での図解を多く取り入れ、文章は補足的に使われている。このように図解はマルチメディアな部分で発達してゆくのではないかと思う。
- ・ 図解は自分にも他人にもわかりやすく物事を伝えることができる。コミュニケーションの手段の一つであるといえる。
- ・ 図解は相手に伝わるように、伝わりやすくするというのも大きな役割だと感じているが、さらに大きな力を持つのは、伝える側、図を作成する側が、図を作成する段階において、考察する機会を得ることだと思う。
- ・ 図解することによって物事を理解しやすくできるし、それによって仕事の効率も上がるだろう。しかしそれだけだ。が、マスターしておいて損はない。
- ・ この講義は自分にとって、かなりのステータスになったと思う。根本的にももの考え方が変わった。すべてを図解して簡略化するようになり、頭の中で整理が楽にできるようになったと思う。図解はすべてに応用できるのではないだろうか。
- ・ 図解の可能性はまさに無限であると思えてならない。どうして図解表現がメジャーにならないのか疑問に思うほどである。
- ・ 図を書くということは、様々な物事の本質を自分の力で考えて理解しようとすることだ

と思う。今まで分かりづらかったものがすっきりと頭に入る。そうするとこれまでより多くの知識を簡単に手に入れることができるだろう。

- ・ 図解で表現することで理解能力がかなり高まることを実感した。しかしどのような図にも説明が添えてあるように、図ですべてを表すのは無理とまではいかないが、認識のずれが生じるようなきがしてならない。
- ・ これから図解表現が広く活躍するであろう。分野はまず教育分野であると思う。「難しいことを子供や学生にも分かりやすく理解させることのできる術」の一つとして、発展していくことを期待している。
- ・ 図解は物事のキーワードをすべて書いてあるので、図を見れば大抵のことがわかる。特に歴史については図解していくうちに因果関係が分かるし、新たな発見もできそうだ。
- ・ 図解とは文章の羅列にはない人間の理解力を高める要素があるものなのだとということである。ホームページのデザインや構成などに図解の可能性が見いだせるとも感じる。
- ・ 図解表現は一目見るだけで、その内容の全体像が頭に入ってくるので、口で説明するよりも明確であり、文章を読むよりもわかりやすい、便利な表現だと思う。自己紹介やコミュニケーションの場面や学校の講義、新聞、本など、その可能性は無限である。
- ・ 図解表現はまず社会に出て会社などで報告書を書くときに使えると思った。また図解表現は中学生や高校生にも教えたらいいと思う。
- ・ 今回学んだ図解並びにそれに関する。事項はスキルとしてみにつけると将来確実に自分にとってプラスになるものの一つであると思う。
- ・ 図解技術を歴史の教科書、政経の教科書に用いるべきだ。図解によって歴史や政治について断片的にではなく体系的に学んで行くことができるのではないだろうか。現時点では図解技術があるということは、一部の人々にしか知らされていない。これからは表現手段の一つとして、図解技術を浸透させていくべきである。
- ・ 図解は大変分かりやすくなるし、わかりづらくもなる。しかし、わかりやすいものも少し手を加えればあっという間にわかりやすくなる。小学校などで幼い頃から図解法を学べばだいぶ身に付くと思う。
- ・ 図解は他分野がコラボレーションする上で重要である。更には他分野の相互関係を一見で理解することができて有意義である。
- ・ 今後図解すると良いのではと思うのは、歴史の教科書や、分かりづらい経済や行政の政策、新聞紙面などです。今後図解表現がどんどん進化し、発展して応用されていけば、人々の理解度は今以上に高まると思う。しかし、図解する際にこぼれ落ちてしまう重要単語をどうしていくかが、図解表現技術の将来を左右するのではないだろうか。
- ・ 図解をもっと小学校のうちから勉強したり、教科書に取り入れることによって、小学校の学力低下や勉強離れの問題解決の糸口になる気がする。またこれから社会の情報をより多くの人たちに伝えるためにも図解の良さを理解して取り入れるべきだと思う。
- ・ 図解された教科書があればとっても分かりやすいものになるのではないかと思う。上辺

だけの暗記に終わらず、国と国の関係がわかるのではないかと思う。

- 今後図解表現の需要が高まり世の中に広まっていくと思う。小学校低学年の時から図解のわかりやすさなどを教えておけば、吸収してよりよい社会になると思う。
- 文章が複雑になればなるほど図解が生きてくる。HPは図解そのものだと思う。図解は見る人には簡単だが、作る方としては底がなく広くて深い。